

「仙台空港再生の第一歩」 ～仙台空港再生に向けた名取市・岩沼市の排水対策を実施します～

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波により、仙台空港周辺の低平地においては、広範囲にわたって浸水しています。

周辺は住宅地のほか、仙台空港アクセス線や下水道処理施設等の主要施設が浸水していることに加え、行方不明者の捜索活動の促進を図るため、早急な排水が必要となっています。

国土交通省では、排水路等の障害物の除去による自然排水の促進のほか、国土交通省が全国に配備している排水ポンプ車を集め、名取川河口から阿武隈川河口の浸水区域において、本日から広範囲の浸水解消を重点的、機動的に実施します。

【緊急排水概要】

- ・排水ポンプ車
 配備予定台数 20台
 (19日時点で15台配備)
- ・排水開始
 3月20日 (一部は13日から開始)
- ・排水完了予定
 燃料の調達状況によるが一週間程度を目途に実施

※概要は、別紙の通りです。

問い合わせ先

河川局河川計画課 小浪 TEL:03-5253-8443(直通)

※同様の発表を、東北地方整備局より宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会に対し実施しております。

“仙台空港再生”の第一歩

仙台空港周辺の低平地は、東北地方太平洋沖地震による津波により広範囲にわたって浸水。

周辺は住宅地のほか、仙台空港アクセス鉄道や下水処理施設等の主要施設が浸水していることに加え、行方不明者の搜索活動の促進を図るため、早急な排水が必要。

国土交通省では、排水路等の障害物の除去による自然排水の促進のほか、国土交通省が全国に配備している排水ポンプ車を集め、広範囲の浸水解消を重点的、機動的に実施。



【緊急排水概要】

- ・排水ポンプ車
配備予定台数 20台
(19日時点で15台配備)
- ・排水開始
3月20日(一部は13日から開始)
- ・排水完了予定
燃料の調達状況によるが1週間程度を目途に実施

仙台空港

仙台空港アクセス線

一部排水作業中

【仙台空港北部の浸水状況】

3月19日撮影